

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	110	事業名	芸術鑑賞事業		担当課		生涯学習課					
			(中事業名) 芸術鑑賞事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-1 芸術鑑賞事業					
					決算書ページ		232 ~ 232		一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪									
		政策	1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進									
		施策	(2) 文化芸術による交流									
	その他	開始年度	開館時（1998年）									
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可					
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 61000 【事業内容】 質の高い舞台芸術が鑑賞・体験できる場や機会を、音楽、演劇、美術等多分野にわたり子どもから大人まで幅広く提供し、まちへの愛着や誇りを醸成します。(R7は工事休館のため、文化の家での学校鑑賞会は実施しない)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 文化の家での学校鑑賞会の開催回数（R7工事休館のため、目標値調整）（R6, R8は一部工事休館のため目標値調整） 【その他の指標】 市民参加の延べ人数（来場者数）（R7工事休館のため、目標値調整）（R6, R8は一部工事休館のため目標値調整）		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。		大事業共通		
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 文化の家での学校鑑賞会等開催回数 (R7工事休館のため、実施不可) (R6, R8は一部工事休館のため調整による)	回	基準値	1	目標値	1	0	1	1	1
			目標値	1	実績	0						
		2	【その他の指標】 市民参加の延べ人数（来場者数） (R7工事休館のため、目標値調整) (R6, R8は一部工事休館のため目標値調整)	人	基準値	-	目標値	10,000	3,000	10,000	25,000	25,000
			目標値	-	実績	7,918						
		3			基準値		目標値					
			目標値		実績							
		4			基準値		目標値					
	目標値			実績								
	エピソード	事業開始の背景		文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となしてほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になしてほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開してきた。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	文化の家の事業の内容、クオリティは非常に高く、独自公演の多数制作で、アーティストとの協働も実現している。人員が少ない中で、有効な集客広報手段が必要。また市が抱える課題に対して、文化芸術を活用した事業を他課と連携して開催しアプローチを行ってきており、一定の評価を得ることができた。ただアクションプラン指標である学校鑑賞会の開催については予定していた海外アーティストの来日と学校の予定を合わせることができず断念した。		R7							
		R8			R9							

III事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		すべての事業での新聞等の掲載回数	回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
				52回		35回		38回		58回		60回	
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。また新聞掲載をしてもらえる基準として新たな挑戦や試みであることが、記者が取り上げる大きな基準となっているため、本目標により定例的で形骸化した事業を防ぐことにつながる。また新聞を見て、文化の家を知る市民を増やすことにもつながり、アンケートでの「新聞を見て来た」来場者を調査できる。						
評価の理由、分析													
新聞記事の掲載は、近年再び掲載数を増やしてきているが、安定していない。人員不足により広報に注力できない点が課題でもある。そのような状況でも掲載数は年度によっていくらかの幅があるため、地元新聞記者との関係性を構築し、定期的な事業の取材依頼を欠かさないことが必要となる。													
加える変化（ACTION）		今後の方向性		今後の方向性の理由									
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	文化芸術マスタープランに沿い、今後も文化や芸術によるまちづくりを推進し、シティプロモーションとして文化や芸術が根付き、芸術家が活躍する市として、PRできる事業展開をしていく。									
		改善ポイント											
		（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）											
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度
1	【改善】 歳入の確保による事業費の一部充当	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	クラウドファンディングの実施や、制作事業の他市町への売り込み、チケット収入による歳入の創出								R8		
2	【改善】 助成金の確保による事業費の一部充当	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	文化庁補助金、財団法人地域創造や、瀬戸信用金庫助成金を今後も獲得していく。昨年と同様の企画であったり、類似の事業やパッケージ事業を申請しても採択を得られないため、多様なジャンルの毎年異なる挑戦的な公演を、企画、制作し実施することで、継続的に助成金を獲得していく。								R8		
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
IV費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	決算	予算	決算	予算			
		理由		合計額		28,367	24,700	30,449	27,287	11,322			
		R7は工事休館によりホール事業が実施不可のため、大幅な予算削減があった。R8以降はR6と比較して予算規模を2割削減する。 方向としては縮小となるが、前年度R7との比較という意味では、予算的には拡充と見えるため、拡充としておく。		特定財源	(内 国費)								
				(内 県費)									
(内 諸収入)	14,496			10,866	17,413	6,880	4,985						
(内 その他)	36				212								
積算額		一般財源		13,871	13,798	13,086	20,195	6,337					
事業内容未定のため未記載		3年間の推移 R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ オンラインサービス使用料 198千円（66千円） チラシ折込手数料 260千円（225千円） ライセンス使用料 130千円（112千円） 市長賞受賞者報償金 150千円（150千円） 普通旅費 14千円（14千円） 会計年度任用職員旅費 7千円（7千円） 消耗品費 321千円（321千円） 食糧費 43千円（43千円） 筆耕翻訳料 100千円（100千円） 公演撮影委託 300千円（300千円） 原材料費 110千円（110千円） 事業用備品 0千円（0千円） 著作権使用料 96千円（200千円） 看板作成委託 115千円（268千円） 広告料 567千円（732千円） ピアノ調律手数料 110千円（346千円） 自動車借上料 0千円（522千円） 講座・講演等報償金 1,014千円（1,565千円） 印刷製本費 1,436千円（3,582千円） 事業・公演等委託 6,351千円（21,786千円）											